

ゴールキーパーがファースト決定機を止めたときに  
試合に及ぼす影響についての研究  
—2010年W杯ワールドカップに着目して—

近坂 春助 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)  
指導教員 望月 聡

キーワード：決定機 ゴールキーパー 影響

1. 緒言

GKはフィールドプレイヤーの中で、唯一手を使えるポジションである。日本では、1998年8月、(財)日本サッカー協会技術部の中にGKプロジェクトが設置され、近年GKというポジションはとても重要視されてきていることがわかる。「GKは、チームの中で最も重要な選手である。GKが優秀でなければ、試合に負けることもある。優秀であれば、味方に自信を与え、力以上のプレーをさせるようになる。」などと言われている。その中でも、自身がGKを経験してきた上で、1st決定機を止める事が重要になってくるのではないかと考えた。そこで、本研究では2010年W杯という舞台でも1st決定機を止めることは、試合の中で重要なポイントになるのではないかと考え、相手の1st決定機をGKが止めることで試合に何らかの影響を与えるのではないかと考え研究とした。

2. 研究方法

本研究の調査対象は、2010年W杯決勝トーナメント全16試合をビデオ分析する。

3. 結果・考察

表1

ファースト決定機を止めたゴールキーパーの決定機後	
シュートストップ数	平均1.0
クロスボールの処理数	平均2.2
決定機セーブ数	平均3.2
ファースト決定機を止めていないゴールキーパーの決定機後	
シュートストップ数	平均3.3
クロスボールの処理数	平均1.3
決定機セーブ数	平均0.6
ファースト決定機がポストに当たったゴールキーパーの決定機後	
シュートストップ数	平均2.5
クロスボールの処理数	平均2.0
決定機セーブ数	平均2.5

1st決定機を止めたチームのGKは、1stを止めていないGKと比べると、クロスボールの処理数、決定機セーブ数が上回った。1st決定機を止めていないGKを相手にしているチームが勢いづき、相手のシュート本数が増え、1st決定機を止めていないチームのGKの決定機後のシュートストップ数が増えたのも一つの要因であると考えられる。

表2

ファースト決定機を止めたチームの勝敗	
勝ち	2
負け	8
ファースト決定機を止めていないチームの勝敗	
勝ち	1
負け	4
その他	
勝ち	0
負け	1

国別ランキングで上位のチームもあれば、下位のチームもあるので結果はファースト決定機を止めても、必ずしも勝つとは限らなかった。1st決定機を止めることができなかったチームは、負ける確率が上がった。

4. まとめ

GKが1st決定機を止めることで、試合に良い影響をもたらすと考えることもできる。しかし、1st決定機を止めても、必ずしも試合に勝てるとは限らないということがわかった。

5. 参考文献

スポーツ心理学 心を強く鍛えるための15の「理論」と「実践法」高畑 好秀 著 P45 下段4行目から7行目 2003年発行 山海堂 etc